

各 位

会社名 シャープ株式会社  
代表者名 取締役社長 片山 幹雄  
(コード番号 6753)

## 中国における液晶パネル生産プロジェクトの受注・契約調印について

シャープは、南京市と南京中電熊猫信息产业集团有限公司<sup>\*1</sup>(以下、CECパンダ)が設立した液晶事業会社「南京中電熊猫液晶顯示科技有限公司(以下、新会社)」より、第6世代液晶パネル生産プロジェクトを受注し、本日、契約書に調印しました。

当社は、液晶の生産技術およびノウハウを提供するとともに、亀山第1工場の最先端生産技術を盛り込んだ第6世代生産設備を売却することで、新会社が南京市において進める第6世代液晶パネル工場の建設と生産に協力してまいります。工場は、2011年3月までの稼働を予定しています。

また、中国における液晶パネルの需要拡大に応えるため、当社は、第6世代の液晶パネル生産に続き、南京市、中国電子信息产业集团有限公司(以下、CEC)<sup>\*2</sup>と、第8世代の液晶パネル生産の合弁事業について協議を進めていくことを確認しました。

さらに、当社は中国における液晶および液晶テレビ事業の強化を図るため、これら液晶パネル生産プロジェクトに合わせ、液晶パネルから液晶テレビに至る設計開発を行う「液晶設計開発センター(以下、開発センター)」を2010年4月に南京市に設立する予定です。

シャープは、南京市で2001年に液晶テレビの組み立てを、2006年には液晶モジュールから液晶テレビまでの一貫生産を行っていますが、この度の液晶パネル生産、開発センターの設立により、中国において設計開発、液晶パネルおよびモジュールの生産、そして液晶テレビの組み立てまでを行う垂直統合体制を構築します。これに伴い、関連企業の進出が進み、「南京市クリスタルバレー」が構築されることを期待しています。

当社は、世界のテレビメーカーの旺盛な液晶パネル需要に対応するため、亀山第2工場の生産能力を本年8月から引き上げており、堺市の液晶パネル工場を本年10月から稼働させます。この度の中国での液晶パネル生産開始により、コスト競争力の高いグローバル生産体制の構築を図ってまいります。

<第6世代の液晶パネル生産に関する契約内容>

- 契約者：シャープ、南京中電熊猫液晶顯示科技有限公司
- 契約内容：第6世代の液晶パネル生産技術供与および亀山第1工場の生産設備売却を含む生産立ち上げプロジェクトを受注
- 建設予定地：江蘇省南京市
- 生産品目：液晶パネルと液晶モジュール
- 投入能力：月8万枚（稼動当初は月6万枚）
- 着工時期：2009年11月（予定）
- 稼動時期：2011年3月まで（予定）

<第8世代の液晶パネル生産に関する確認内容>

- 確認者：シャープ、南京市、中国電子信息産業集团有限公司
- 確認内容：第8世代の液晶パネル生産の合弁事業
- 工場建設予定地：江蘇省南京市
- 生産品目：液晶パネルと液晶モジュール
- 稼動時期：未定

<シャープ開発センターの概要>

- 運営者：シャープ（100%出資）
- 目的：液晶パネル、液晶モジュール、液晶テレビに関する設計開発
- 建設予定地：江蘇省南京市
- 設立時期：2010年4月（予定）

※1 南京中電熊猫信息産業集团有限公司（CECパングダ）の概要

- ・本社所在地：江蘇省南京市
- ・概要：国営の中国電子信息産業集团有限公司が70%、江蘇省および南京市が各15%を出資する電子・情報通信企業集団
- ・代表者：頼偉徳（総経理）
- ・資本金：10億元（約130億円）

※2 中国電子信息産業集团有限公司（CEC）の概要・・・CECパングダの親会社

- ・本社所在地：北京市海淀区
- ・概要：国務院国有資産監督管理委員会が直轄する中国最大級の電子・情報通信企業集団
- ・代表者：劉烈宏（総経理）
- ・資本金：79億元（約1,000億円）

以上